

市報 さが

発行所 佐賀市役所
佐賀市神野町331番地の3 〒840
電話代表 ②3151番
発行人 総務部長

佐賀市の人口

12月1日現在	前月比
人口 164,209	+179
男 78,416	+132
女 85,793	+47
世帯 51,337	+80



迎春

“80年代へスタート” 走ろう! 夢と希望をのせて! (佐賀走ろう会のみなさん)

明けましておめでとうございます。新春の訪れを、市民の皆さま方とともに、心からお喜び申し上げます。

今年からいよいよ一九八〇年代。難しく、大変な年代であるように思えます。

今、この佐賀市を支える三大産業、すなわち商業と農業をみましても、その感を深くします。

商業の分野でみますと、七〇年代末の昨年は、駅前の西友ストアの開店、寿屋の呉服元町への進出などがあり、市内の商店街に大きな変化と動きがありました。そして、この動きを導火線として、商店街を中心とする街づくりの“ありよう”について、市内に大きな関心と、言いますならば自問のうずが巻き起こってきたような気が致します。



佐賀市長 宮島 剛

よき八〇年代でありますように。そして、よりよい佐賀市と市民生活のため、私は、昨年同様、それ以上に全身全霊を打ち込んでがんばる決意です。

私たちのまち佐賀市の、商業を中心とする街づくりをどうするか、早速、今から真剣に勉強にかかってゆかねばなりません。

年頭のごあいさつ



市民の皆さま、あけましておめでとうございます。昭和五十五年の新春を十六万市民の皆さまとともに、健やかに迎えることができましたことを、心からお喜び申し上げます。



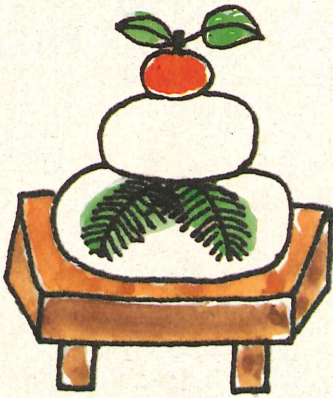
佐賀市議会議長 佐武田 資義

市民の皆さまの一段のご支援ご協力をお願いいたします次第であります。地方の時代といわれる昭和五十五年のれい明とともに、伸びゆく大佐賀市建設に向かって、新たな希望と覚悟をいただき、皆さまのご多幸とご健康をお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。

油需給の悪化、円安による物価の不安定、また、衆議院議員選挙による新内閣の誕生など内外を問わず、社会、経済情勢は目まぐるしく変動し厳しい年で暮がおりました。こうした厳しい情勢の中で、新年を迎え、心してことを処さねば」と、決意を新たにいたしますのは、ひとり私のみではないと存じます。

私も議員会人は、昨年五月、皆さまの負託によって、市政の一端をなっておりますが、市民生活優先の原則を第一義として、市政の運営にあたり、住

昔のこども



佐賀の正月

かがみ もち だん ぎ

鏡餅談義



お正月のもちつき
おとなも子供も、暗いうちから、興奮しきって楽しみました。霜の朝、「かまや、いっぱい湯気が立ちこめ、明るい新年を迎えるかのようにした。



石うすでキゴづくり
ゴーリン、ゴーリン。キゴ（きな粉）は、香ばしく、子供たちの大好物。シバの葉の Spoon でパツツとやれば、くしゃみが出てよく吹き飛んだもの。

ほんげんぎよう前夜
きは、正月七日明け方の行事。子供たちは、もつはら前夜祭が楽しみで、ササやシバのやぐらの中で、たき火にほおを染め、「食った食った、しゃべったしゃべった」。



十四日のもぐら打ち
ほつひは、きまつておもち。おかしん（おもち）な、ま（う）でも（ゆかんても）、ふとかと（大きなもの）から、くんさい」と大声で呼んだものでした。



コンペイ(乾餅)
サイの目に切ったもちを、コーサ（素焼きの平たいなべ）で焼くと、コンペイ（かきもち）になる。味見で半分はなくなっていました。



絵をかいた人
城西中学校教諭
県美術協会会員
緒方保男さん(61)

先生は、市内北端の山家暮らしで、最上等のオソソを満喫されています。
幼いころから、お茶とのりとワカメで育たれたそうで、そのためか、白髪や脱毛がなく若く見えます。
先生は、貫ろくがないと悲観されていますが……。
油絵は、主に風景画、特に長崎の海を臨む景色が好きだそうです。
44年ごろから、昔使った学用品や少年時代の遊びなどを思い出しながら、イラスト風に描いたものが4,000点ほどあるそうです。